

県高校新人体育大会

2018年度県高校新人体育大会は30日、県内各地で3競技を行った。ハンドボールは女子決勝で那覇西が17-11で浦添を下し、4年ぶり13回目の優勝となった。男子決勝では興南が36-25でコザに

那覇西(女子)、興南(男子) V

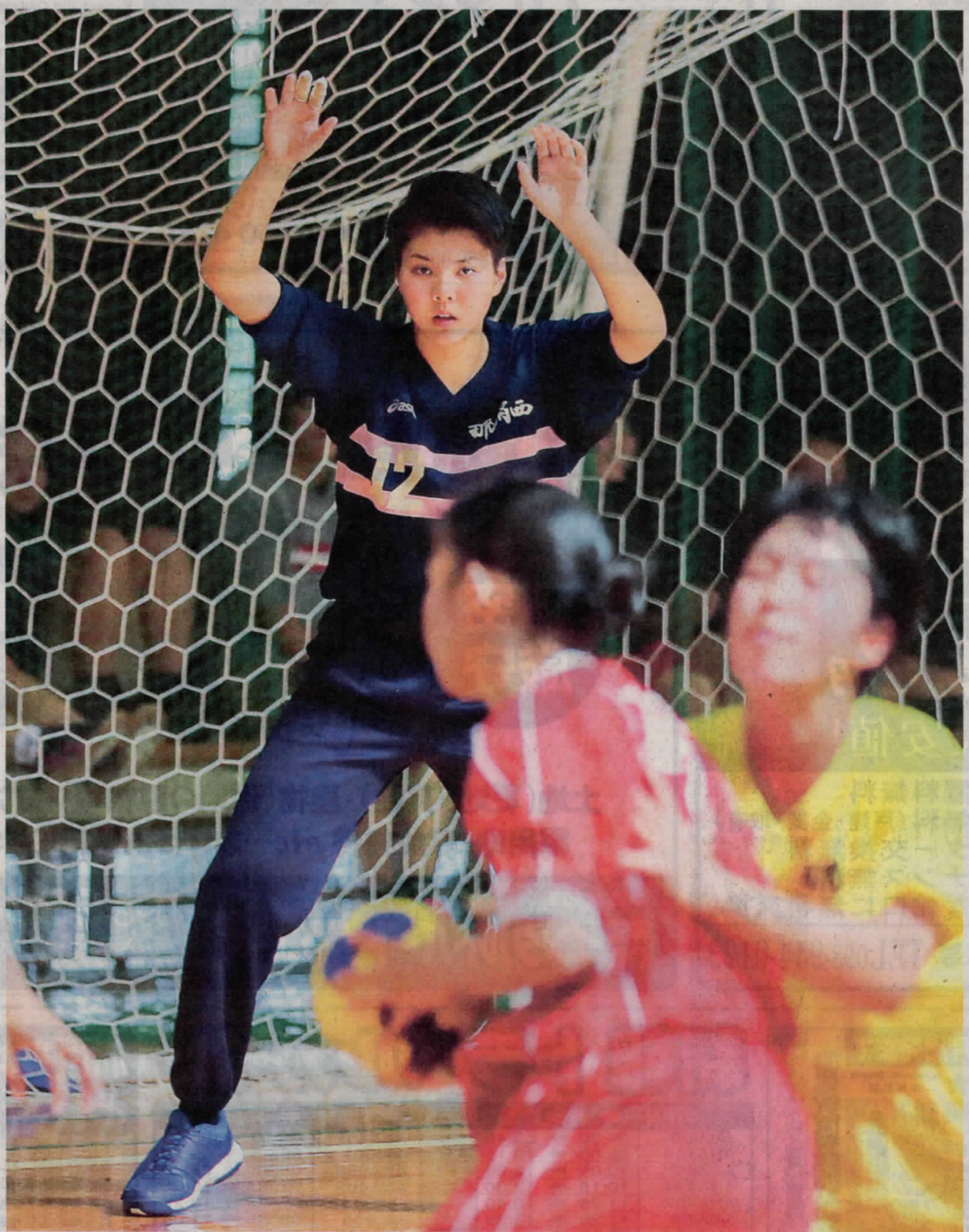
ハイライト

堅守速攻で勝ち上がった女子の那覇西が、決勝でも堅い守りでコースコアの展開に持ち込み、17-11で浦添に

那覇西 GK 仲宗根 復帰戦で全開

勝利し4年ぶりの頂点に立った。決勝を含む4試合で36失点、1試合平均9失点に抑えた。比嘉監督は「取り組んできた守備でしっかり守り、速攻で走る。シンプルなこと

女子決勝 那覇西-浦添 好セーブを連発し4年ぶりの優勝に貢献した那覇西のGK仲宗根鈴珠(奥)30日、八重瀬町の東風平体育館(大城直也撮影)



4年ぶり13回目の優勝を果たした女子・那覇西の選手たち



12年連続32回目の頂点に輝いた男子・興南の選手たち

興南	36	1719	1510	25	コザ
那覇西	32	1616	1228	20	浦添
男子3位決定戦					
那覇西	17	710	774	11	浦添
女子3位決定戦					
浦添	34	1816	615	11	南風原

ハンドボール



男子決勝 興南-コザ 速い動きで守備を抜きシュートを決める興南の池間飛勇

王者の圧倒的攻撃力 興南12連覇、全国に照準

男子の興南は決勝で36-25で勝利し、12年連続32回目の頂点に輝いた。全試合30得点以上を目標に掲げて、全5試合で249得点と、目標をはるかに上回る圧倒的な攻撃力を見せた。決勝は前半序盤に守備の飛勇がチーム最多の7得点を挙げ、試合終了間際には舞台に照準を定める。

勝利し、12年連続32回目の栄冠をつかみ取った。ボクシングはライトフライ級の又吉日向(KBC未来)と比嘉政太(官野瀬)が連覇。8階級中、バンタム級・富間蓮生、ライトウェルター級・屋嘉部聖、ウェルター級・玉村海藍、ミドル級・大城惟安マイケルと沖繩水産勢が4階級を制した。バレーボールでは女子の小椋が初優勝、男子は美里工業が5年ぶり17回目の頂点に立った。